

なんと未来ミーティング<移住者コース>参加者アンケート

開催日時：令和3年9月15日（水）

午後7時30分～

開催場所：南砺市役所401会議室

参加された皆さんにお聞きした感想など具体的に記載いただいた内容を以下に記載しています。

（順不同）

【設問】 このミーティングに参加しようと思った動機は何ですか。具体的に記載してください。

- ・移住して数年経ち、移住者としても市民としても何か市政に参加したいという気持ちが芽生えたから。
- ・他の移住者はどのような考えをお持ちなのか興味があったため。
- ・南砺市のことが好きなので、何か貢献出来たらと思ったので。
- ・お声掛けいただいたので。
- ・市長と議論ができること。南砺市の未来について、移住者として意見が言える場であること。
- ・市内の移住者とのネットワークを広げたかったため。また、近年の移住者の考え方を知りたかったため。
- ・最近の移住者さんとお知り合いになりたい、その方たちの考えや南砺での暮らしを知りたい気持ちが最も強い動機です。
- ・2回参加しました。田中市長に直接お話しできる機会があり、市長もその場ですぐやろうと約束してくださるのがとてもいいなと感じました。冒頭のお話も有難いです。
- ・移住した想いや、外から来て感じた感覚のズレ、街の良し悪しを慣れてしまう前に伝えて活かして欲しいと思ったからです。また市長と顔を合わせ言葉を交わせる機会は貴重と考えたからです。市民の声を直接聞いてくれる市長がいてくれるのはとても嬉しいことだと思います。

【設問】 このミーティングに参加して、南砺市に対する意識や思いは変わりましたか。具体的に記載してください。

- ・移住してからもずっと思っていましたでしたが市民の声を大切にするまちだなあと感じています。南砺市の未来が今の子供たちにとってよりよいまちになるよう私たちが頑張らなければならないと改めて思いました。
- ・南砺市に対しての意識の変化は特に変わりませんでした。同世代の移住者がこんなにいるとは思ってなかったので驚きました。
- ・市長はじめ南砺市全体の課題へ取り組んでいくというあつい姿勢を感じました。
- ・やっぱり好きだなあと思う。『田舎』に対する概念が変わるので、様々な取り組みに関する行政や民間からの発信があれば良いのと思う。
- ・南砺市がどのような未来に向けて進んでいるか、という全体像を知ることができて、一層「良いところだな」と思うことができた。また自身も一市民として力になりたいと純粋に思った。
- ・共感できる人や意見があることがわかり、仲間ができたようで楽しい時間だった。我々一市民の言葉をなんでも受け止めていただき嬉しかった。これからますます自慢したい町になりそう。
- ・様々なバックボーンを持った人が意外といることを感じた。そのような人と、昔から南砺市に住んでいる人が調和しながら、日々の暮らしを送っていけば、おのずから過ごしやすい魅力的な南砺市になると考えます。
- ・このミーティングにでて市長が情熱をもって過疎化している南砺市ならではのやり方で住民の満足感を上げていきたいという気持ちを感じます。
- ・大きく変わった点はないけれども、様々な移住者が増えていることが改めて分かりました。
- ・特に変わりません。
- ・南砺市がなぜSDGsに取り組むのか、何を重視していて、モデル都市に選ばれた理由は何なのか、今何が課題と市長が感じておられるのか知ることができたのは大きかったです。
- ・変わりません。空き家対策の発表では少し話し合いと違う部分がありました。情報を登録してプッシュ通知やアプリで受け取る必要はないと思います。それは市ではなく不動産屋が行うと思います。

売買以外のニーズにも応えられるページであれば良いと思います。

不参加であったとしても一個人の出来る範囲で街の維持の一助になろうと思う気持ちは変わりません。

【設問】 次に参加するならば、どんなテーマに興味がありますか。(コースにこだわらずに)

- ・SDGs や、今回のテーマ「ウェルビーイング」など、地域福祉について。赤ちゃんから高齢者、南砺市で生まれてから死ぬまでの幸せについて。
- ・城端線のLRT化。
- ・南砺市で暮らしたい人を増やすにはどんなアプローチがあるのか？現在2拠点生活が増えつつあるので、農業や雪の季節など、季節で暮らせるシェアハウスがあれば良いのと思う。
- ・南砺市での子育てについて。
- ・今回同様、仕事。あるいは女性活躍。
- ・移住・仕事。
- ・市在住外国人、障がい者、子どもの貧困、子育て。
- ・インフラ、空き家、教育、農業、未来。
- ・テーマは移住者、住民、市役所、市長が抱える問題や提案の中で共通するもので良いと思います。ただ、複数のテーマに興味や意見がある場合は今回のように完全にグループ分けされてしまうと伝えられなくなってしまうと感じました。

【設問】 あなたなら、どんな企画で南砺の未来を考えたいですか。

- ・南砺市で幸せに暮らせるために、生きづらさを感じる人や、困っている人、一人も取り残さないための居場所作りをしたい。また、市外、県外でも「南砺市に相談すれば受け止めてくれる」と思ってもらえるまちづくり。子供も大人も、何か困っても南砺市に住んでいたら大丈夫という未来なら、自分の子供が南砺市で暮らし続けてくれるのかなあって思います。
- ・移住者を大幅に増やす最も有効的な方法としては企業や大学等、法人単位での誘致が最も近道だと考えますのでその企画。
- ・移住したばかりの人向けの『困りごと』対策、移住したい人の悩み事（マインド）相談、移住したいけど出来ない人の『出来ない』を聴き取る。
- ・食、住、エネルギー、仕事、子育てなどのカテゴリにおいて、移住者だけの視点ではなく、様々なレイヤーの人が1つのグループを作り未来を考えてみる。数回に分けて開催し、意見が出し合える環境作りから行う。
- ・個人的に、各種統計・データ等を駆使した未来予測や地域振興に関する講義が一番勉強になると思います。
- ・移住する前の地域案内で、空き家で住む家探しという名目ではなく、空き家の家主と世間話をするツアーとかあったら良いと思う。
- ・テーマを決めて、その課題にそった市内の現場を見て、ワークショップを行いたいです。
- ・自然栽培農園での栽培体験、田んぼの芸術祭
- ・住民全員が認識する未来大会議→・そこで出た企画を実現する塾
- ・セルフリノベ塾（100万円で古民家に住めるようにする、宮大工のDIY教室）
- ・「地産地消」「自給自足」ここに住む自分達の力で衣食住が賄え、守ることができる街。副業、勤務時間等働き方に自由度を持たせて半農半Xのように他の物事に取り組める時間を捻出する。耕作放棄地、荒れた山等を有効活用し職人から技術の継承を行う。できた作物を市内で流通、伐採した木材で古民家を修復させる等。他所に頼らなくても溢れる資源を活かす。マルチスキルを持つ自分達で守れる街づくり。

【設問】 その他、参加した感想や意見を自由に記載してください。

- ・様々な意見を拝聴することができとても有意義な時間となりました。
- ・リアルよりも雑談が極端に減ってしまうので、20分のセッションは非常に短く感じました。せっかく提言するのであれば、思いつきだけの内容よりもう少し掘り下げたものを提言できるとよいなと思いました。

・できればリアルの場で皆様と膝を突き合わせて意見交換がしたかった、と思う反面、山間部・平野部広いエリアで夜中に集まれるのはオンラインならではだと思あるので、今回は良かったなと思います。市の政策を知る機会となりとても有意義でしたし、移住者の意見を聞いてくださるなんて、本当に南砺市は良いところだなと改めて思いました！私も移住者ならではの視点で、もっと地域のために貢献していきたいです。

・2時間ではもったいないくらいの濃い内容でした。これだけの議論であれば、もっと回数を重ねて議論したいと思いました。反対に、子育て中のため、1回の会で2時間は少々負担がありました。子育て世代が参加するには1時間半が最長かと思います。ぜひ、ご検討ください。

・参加者は意欲ある意識の高い方ばかりだと感じました。一方で、挙げられた課題の中には以前から指摘されていたものもあり（市内出身の若者が市の行事や祭りに参加しない・市内の若者に地域の情報を届ける手段がない等）、移住者の声が政策に十分生かされていない感も否めませんでした。

・「どんな空き家がいいか等、連絡先と興味の対象を簡単に登録、当該情報が入ったら連絡を受けられるようにする」というのが今回話し合った結論でした。（発表が少し違う印象でした）運用は面倒ですが、アプリでなくてもフォームで簡単に出来ると思います。

・各種手続き際、直接の来訪、QRコードや用紙の印刷の方法だけでなくリンクを貼って携帯電話1つで完了させてほしいです。実際に使ってみればすぐに不便だと感じるはずですが、また、南砺市役所に訪れた時これまで見てきた他の地域の役所の職員さんよりも対応がとても丁寧で好感が持てました。

今回は参加させていただきありがとうございました。

・話の中で移住者だから知らないのが当たり前だと寛容に対応して頂けても地元出身だとシビアに対応されるのでお祭りなどの地域の行事には、人間関係が面倒だから参加しない選択をされると聞いてとても納得しました。

私たち移住者は遠巻きに見られているのだなと感じることが時々あり、大目に見てもらえることが有難いとも思いますが、その寛容さが地元や地元出身の若い人にも向けられていたら、地元の若者の参加も増えて、移住者との交流がもっと出来るのではと思いました。

空き家対策ですが、福光は金沢の隣町と言う立地条件なので、金沢大学の学生さんのシェアハウスが出来るのではと思いました。私が短大時代に地方出身者がシェアをして代々受け継がれている古民家がありました。（先輩からの紹介だと言っていました）複数人が一軒家をシェアして、暮らしていました。そんな古民家の使い方があるので、学生さん向けシェアハウスを空き家対策に如何でしょうか？

イベント事の指針が欲しいと言う話し合いでは、地域で日頃会っている人同士の小さな集まりも（例えば郷土料理教室やタブレット教室など）中止になってしまうのは何だか窮屈で変な感じがした。と言う話が出ていました。

地域の方への貢献など、移住者が企画して集まるイベントで何かあると特に移住者なので肩身が狭くなります。地域の『当たり前』をまだ知っていないので大目に見て貰える部分とほれ見たことか！と言われてしまう部分があるので、何か表立った指針やお守りのような何かがあると企画者の立場としては助かります。

また移住者の多くは普通の人で、情報発信をする人は少ないと思います。情報発信をしないイコール困りごとでもSOSも発信しない可能性がある為、移住者向けのLINE@か何かで（子育て世代のお母さん向けアプリのようなものでも♥）困りごとを地元の顔役さんに繋げられる仕組みがあると良いなと思います。イベントなどの告知はFacebookでは活発ですが、若者は別のSNSでしか見ないので、若者向けの情報の発信の仕方に工夫が必要かなと思います。長々と申しまして失礼しました。Web会議は電波の加減もあるのでやっぱり難しいなと感じます。やっぱり直接会って話がしたいです。そんな日に早く戻ることを祈って。今回も参加させて頂いてありがとうございました。

※記載いただいた内容を原文の通り記載しております。